

26 11 1

平成26(2014)年11月1日発行
広報あつぎ 第1194号

ネットは
www.city.atsugi.kanagawa.jp

広報あつぎ

あつぎ健康相談ダイヤル24

24時間年中無休

相談(健康・医療・介護・育児・
メンタルヘルス)・医療機関情報

さわやか1番 よいこころ

 0120-31-4156

医療機関を受診する前に電話で相談を
◎発信者番号は通知設定でおかけください

編集・発行 / 厚木市政策部広報課
〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17
TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951



先行く 医療の姿

少子高齢社会を迎え、医療の姿が変わってきている。病床が限られている中、患者は症状に合わせて、総合病院や診療所、リハビリセンター、そして自宅など、適切な場所で医療サービスを受けることが求められている。地域内の医療機関が連携して患者を診る現場に迫った。

2～5面 **特集** 地域医療最前線

目次

こちらから

6・7面 あつぎ国際大道芸

11月8・9日に開催される「にぎわい爆発!あつぎ国際大道芸」の見どころを紹介します。

8面 市の中小企業支援制度

産業のさらなる活性化のため、中小企業や新規創業者をサポートする支援制度をお知らせします。

9面 空き家の管理は適正に

地域の安全を脅かす空き家の発生を防ぐために、所有者や地域、市が取り組むべき対策を考えます。

10・11面 タウンガイド

催し・講座・子育て・募集・お知らせなど、暮らしに役立つ便利な情報が満載。

特集
地域医療
最前線

我が家で生きる

自分の体が思うように動かなくなっても「自宅で療養したい」と願う人は多い。高齢化が進む今、医療や介護を自宅などで受けられる環境の整備が必要になっている。住み慣れた場所で必要なサービスを受けながら、いつまでも自分らしい生活を送れる社会を目指し、関係機関の連携が進んでいる。



訪問看護サービスを受ける山口文子さんと、後ろで見守る信博さん

☎健康医療課 ☎225-2174 (地域医療)
☎介護保険課 ☎225-2240 (介護保険)
☎高齢福祉課 ☎225-2222 (地域福祉)



日常を細かに記した文子さんの日記

「文子さん、体調はいかがですか。血圧を測りますよ」。介護用ベッドが置かれた和室で、看護師が優しく声を掛ける。診療を受けるのは、山口文子さん（91・戸室）。昨年9月から週に2回、「訪問看護ステーションさつき」の訪問看護を受けている。

チームで関わる

文子さんは50年以上、この家で家族と共に暮らしてきた。同居の息子・信博さん（65）が「とにかく家が好きな人」と話すように、料理や裁縫、庭の手入れなど、まめに家事をこなしてきた。加齢による膝の痛みで長年整形外科に通院していたが、2年ほど前から

徐々に症状が改善されなくなってきた。寝たきりとなった今は、信博さんに支えられながら、自宅で医療・介護サービスなどを受けて生活している。

訪問看護では、文子さんの37年来のかかりつけ医である光ヶ丘医院が出す指示書に従い、看護師が文子さんの体全体をケアする。処置した内容は報告書にまとめ、同院と情報共有している。

文子さんの容体に異変が起きると、信博さんは訪問看護ステーションに連絡し、看護師の指示を仰ぐ。連絡を受けたステーションは、状況に応じて看護師の訪問や光ヶ丘医院への連絡を判断する。文子さんをケアする看護師の石井由紀子さん（59）は「私たちはかかりつけ医も介護士も含めてチームで文子さんに関わっている。医療的な見地から容体を把握するためにも、チーム間の情報共有はとても重要」と、連携して医療や介護に当たる必要性を話す。

通院から往診へ

文子さんの光ヶ丘医院への通院は、信博さんが介助していた。歩けない文



親しい看護師の訪問に笑顔を見せる文子さん



訪問看護では巻き爪のケアなども受けられる

子さんを車椅子に乗せたり、外出用の服に着替えさせたりすることは体力がいる上、文子さんには、診療所での待ち時間でさえも負担になっていた。信博さんは、通院が困難であることを院長の老山大輔先生（47・恩名）に相談。ことし5月から、往診を受け始めた。「母のことをずっと昔から知っている先生に自宅で診てもらえて、本当に良かった」と、信博さんは安堵の表情を浮かべる。

老山先生は昼休みや診療時間を終え



訪問入浴サービスで背中を流してもらおうと、晴れ晴れとした表情を見せる文子さん



文子さんが毎朝、30分以上かけて食べている介護食



プランを提案するケアマネジャー



文子さんの食事を介助する信博さん

「高齢になつたらいずれは病院」という考え方は、時代と共に変わってきている。より多くの人の「自宅で居たい」をかなえるために、医療・介護関係機関、市の連携が進んでいる。見慣れた天井の節目に安心しながら、文子さんは自分らしく生きていく。「長男ということもあり、母には自分が一番面倒を見てもらった。人一倍家が好きな人なので、できる限り自宅で見たい」。信博さんはそう話しながら、眠る文子さんに穏やかな視線を向けていた。

＋ 介護を支える人々

文子さんの日常の看護や介護などのケアプランは、地区の包括支援センターから紹介を受けたケアマネジャーが作成している。ケアマネジャーは、

た後などに、医院のある南毛利地区を中心に往診している。文子さんが22時ごろ熱を出した際にもすぐに駆け付けて点滴を打つなど、電話が鳴ると同時に跳び起きる習慣がついている。往診に充てる時間や費用の面で医師に負担はあるが「長く診てきた患者さんを見放したくない」と積極的に往診する老山先生。文子さんが肺炎などで入院した時には、総合病院である東名厚木病院と連絡を取り合い、容体を確認している。

介護保険を利用して受けられるサービスを利用者の要介護状態や生活状況によって組み合わせ、ケアプランを提案する。文子さんが定期的に受けているサービスは、訪問介護・看護・入浴・歯科、栄養管理、ショートステイ。月に一度のショートステイは、「信博さんのつかの間の息抜きのために」と、ケアマネジャーが勧めた。「介護は周りに聞いていたよりもはるかに大変だった」と話す信博さん。「時には声を荒げてしまうこともある。それでも『悪いね』と言われたときは、母なりに自分を思ってくれていることに涙が出そうになった」と振り返る。信博さんは毎日5時から23時まで5回おむつを替えるほか、床擦れを防ぐために定期的に体位を変えたり、食事を介助したりと、文子さんに寄り添った介護をしている。苦労や精神的な負担は計り知れないが、文子さんを思い献身的に介護する信博さんを、医療や

＋ 自宅で見たい

介護の関係機関が互いに連携を取って支えている。信博さんは「さまざまなサービスを利用しているが、みんながうちのことをよく分かってくれている。たくさんの人に支えられているからやっていける」と信頼を寄せている。



文子さんを往診する老山先生

在宅医療を身近な選択に



厚愛地区医療介護連携会議
野村 直樹 会長(57)
(厚木医師会介護・在宅医療担当理事)

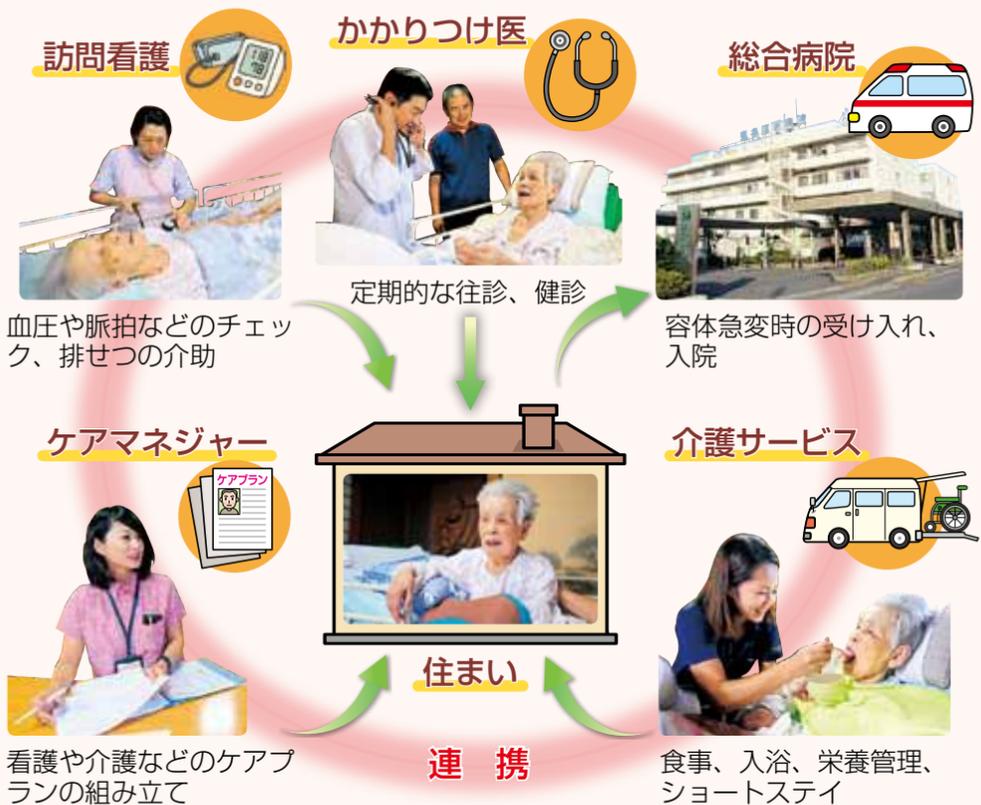
急速に高齢化が進んでいく中、病院ではベッド数の不足が深刻化しています。誰もが在宅医療を受けられる体制づくりは、医者にとっても急務です。

自宅を基本に、地域内で必要な医療や介護が提供される環境をつくっていかねばいけません。

厚愛地区医療介護連携会議では平成25年8月から、医療や介護に携わる約30人が集まり、地域（各中学校区単位）で医療・介護・生活支援などを一体的に提供できる体制づくりの検討を重ねています。その他、在宅医療に関わる医療や介護施設を掲載したガイドブックの作成、在宅での「看取り」を考えていただくための講演会なども開催しています。

自宅での看取りは大きなテーマですが、きちんと家族間で話をしていれば「良かった」と思える選択です。私たち医療関係者も、その選択を万全な体制で支援できるように、さまざまな機関と連携をして準備を進めていきます。

山口さんが利用する医療・介護サービス



※医療・介護サービスの相談は、お近くの地域包括支援センターへ。

特集
地域医療
最前線

患者を守る 医療連携

市内には、規模や専門性の違う医療機関が数多く存在する。軽度から重度まで全ての患者を一つの病院で診療することはできない。総合病院や診療所などが連携し、地域全体で患者を診る医療連携が重要視されている。

市立病院患者支援センター ☎221-1570(代表)



市内の公園で休日を過ごす角田さん一家。左から母・由美子さん(37)、二男・悠臣くん(4)、三男・旭蓮くん(1)、長男・有啓くん(7)、父・浩規さん(38)

秋晴れの午後、市内の公園で休日を過ごす家族の姿がある。上荻野に住む角田さん一家。末っ子の旭蓮くんは心臓を患っているが、市立病院や診療所で適切な治療を受けながら、元気に毎日を送っている。

突然の宣告

平成25年8月18日、旭蓮くんは市内の産婦人科医院で産声を上げた。2人の兄に似て元氣いっぱい男の子だ。掛け替えのない家族が誕生し、一家は喜びあふれる日々を送っていた。既に2人を育てている由美子さんにとって、育児への不安はなかった。

生後1カ月になり、出産した医院で健診を受けた時のことだった。「心雑音が聞こえます」。突然の医師の言葉に、由美子さんは動揺した。精密検査が必要になったため、機器と医師が整っている市立病院を紹介された。

由美子さんは紹介状を持ち、旭蓮くんと市立病院を訪れた。検査の結果、「心疾患」が見つかった。大きな衝撃を受けた由美子さんだったが、幸い旭蓮くんの状態は急な手術を要する程度ではなかった。主治医の斉藤千徳先生(34・小児循環器専門医)が、由美子さんに病状を伝えた。「心室に小さな穴が開いていますが、普段は元氣です。ただ、風邪をひくと、長引いたり重く



生後1カ月の旭蓮くんを抱く由美子さん(本人提供)



旭蓮くんの診察をする斉藤先生

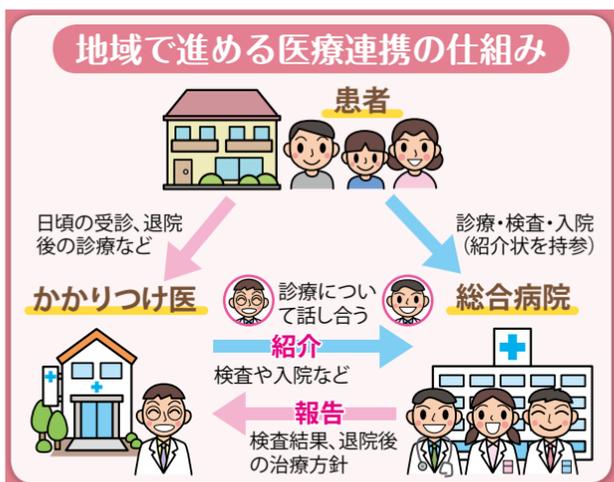
なったりするので注意してください」。一家は家族の体調に気を付けながら、これまでと変わらない生活を続けた。斉藤先生は「市内には優れた産婦人科医院や小児科医院が多いため、通常の診療は心配ない。ただ、旭蓮くんのようにリスクを伴った場合には、設備が整った病院で患者を診られる地域体制が必要」と、診療所との連携の大切さを話す。

かかりつけ医と専門医

木々が紅葉し始めた同年10月27日の夜、旭蓮くんが熱を出した。季節の変わり目に子どもが体調を崩すことは珍しくない。「初めは3人目の余裕があった」と、由美子さんは振り返る。翌日、旭蓮くんを連れて、かかりつけの「厚木こどもクリニック」に向かった。

院長の佐藤忠幸先生(66)が診察すると、旭蓮くんは陥没呼吸(息を吸う時に胸の一部がへこむ状態)をしていた。緊急性があると判断した佐藤先生は、すぐに市立病院に向かうよう由美子さんに伝えた。

「小児科医は、子どもの病気に関わる幅広い知識を持って、日常の診療に当たっている。症状によっては、適切な専門医に患者を案内するのめかかり



危機からの回復

由美子さんは旭蓮くんを抱き、市立病院に駆け付けた。診断の結果は「RSウイルス感染症」。乳幼児に多い呼吸器系の感染症だが、生後6カ月未満の乳児は重症化しやすい。心疾患を抱えている旭蓮くんは、その場で入院が決まった。一時は命の危険を伴う深刻な事態にまで陥ったものの、医師団の懸命な治療が実を結び、一命を取り留めた。「まだ生後2カ月の子ども。本

当にっらかった」。由美子さんは当時



有啓くん(中央)、悠臣くん(右)の前ではいつも笑顔の旭蓮くん

+ **多くの人に支えられて**
市立病院は、県央地区の小児科で、精密検査や治療ができる医師と設備が整った数少ない病院の一つ。救急患者や重症患者などが運び込まれることも多い。斉藤先生は「これから未来を生きていく子どもの命は、絶対に助けなくてはならない」と、地域の基幹病院

を思い出すと、今でも涙があふれ出す。約1カ月の入院生活を経て、旭蓮くんは退院。現在は、市立病院で定期的に健診を受けながら、元気な日々を過ごしている。体調を崩しても軽度な場合は、厚木こどもクリニックで診てもらっている。佐藤先生は「市立病院での診療内容は、しっかりと引き継いでいる。今後も旭蓮くんの健康管理をサポートし、成長を見守っていききたい」と家族に寄り添う。

旭蓮くんの成長と共に、症状の改善を感じている由美子さん。「気軽にいきやすく、何でも相談できる佐藤先生。いざというときに頼れる斉藤先生。どちらも旭蓮の病状を理解してくれている。両方の先生に診てもらえる環境で良かった」と胸をなで下ろしている。

の医師として、診療所と連携しながら全力で診療に当たっている。

退院から約1年。旭蓮くんは2人の兄たちの前で、一番の生き生きとした表情を見せる。長男の有啓くんは、今でも由美子さんに同じ言葉を繰り返す。「旭蓮がいてくれるだけでいい」「旭蓮を産んでくれてありがとう」

今日も旭蓮くんは、医師や家族などたくさんの人たちに支えられながら、健やかに成長している。子どもたちの未来を守るためにも、地域の医療連携は欠かせない。

女性の健康を考える
市立病院市民講演会

日時 12月13日(土) 15時~17時 **無料**
場所 あつぎ市民交流プラザ
内容 「妊娠・出産と婦人科疾患を中心に」をテーマに東京慈恵会医科大学主任教授や市立病院産婦人科医師・助産師が講演
対象 市内在住在勤在学の方100人
11月28日までに市立病院経営管理課 ☎221-1570(代表)またはマイタウンクラブ (☎141512) で。抽選。

安心できる医療環境を整えたい

厚木市立病院
ひろやす
山本 裕康 院長(54)

地域医療を進めていくには、大きく分けて二つの柱が必要です。一つは、日常生活の不具合などをサポートしていく慢性期医療。もう一つは、救急患者の命を守る急性期医療です。市立病院は急性期医療に特化し、市民の皆さんの命を守る医療を進めています。

私は院長に就任後、高度な医療に対応できる専門性の高い医師を増やすことが必要だと考え、人材確保に努めてきました。次は施設の整備が必要です。第1期工事には、救急医療に必要な機能を優先的に盛り込みました。手術室や集中治療室などには最先端の設備が整いますので、救急搬送の他、がん、心臓、血管、脳、周産期の治療など、さらに多くの重症患者を受け入れられるようになります。

市民の皆さんの健康と命を守るため、市立病院を基幹病院として、地域内で治療を完結できるようにしたい。そして、市民の皆さんが安心して受診でき、信頼できるような医療環境を整えていきたいと思います。

市立病院 高い専門性と総合的な診療で地域を支える医療を提供
新・市立病院が来春オープン

平成24年度から進めてきた第1期工事が12月末に完了します。救急・手術棟と新南棟が完成し、新病院の機能の70%が稼働します。地域医療の中核を担う公立病院として、市民の皆さんに最先端の医療を提供します。

- ICU(集中治療室)、CCU(冠動脈集中治療室)を新設し、救急医療やがん治療などを充実
- 手術室を6室から8室に増室。血管撮影装置も取り入れ、高度な手術に対応
- 病室の面積を拡大し、個人空間に配慮。個室も増加し、快適な入院生活を提供
- 免震構造を取り入れ、災害時の被害を最小限に抑制。停電時の電源供給も充実

☎病院建設課 ☎221-1570(代表)

助産師・看護師募集

《定期試験》12月14日 《対象》①助産師または看護師免許を有する②平成27年実施の国家試験で助産師または看護師の免許を取得見込みのいずれかに該当する方15人程度 《採用》①随時②平成27年4月1日 《随時試験》①の該当者を対象に随時実施。申込書に希望日を記入してください。

視能訓練士募集

《対象》視能訓練士免許を有し、視能訓練士として5年以上の業務経験がある方1人(任期付職員) 《採用》平成27年2月1日以降 《任期》採用の日から3年間 《1次試験》書類選考 《2次試験》小論文、面接。

いずれも申し込みは、市立病院や市役所本庁舎、本厚木・愛甲石田駅連絡所にある申込書(市立病院ホームページからダウンロード可)に必要事項を書き、助産師・看護師は12月5日(随時試験は希望日の7日前)まで、視能訓練士は11月20日までに直接または郵送(消印有効)で〒243-8588市立病院経営管理課 ☎221-1570(代表)へ。



【中国雑技】
中国雑技芸術団



観客を巻き込んだパフォーマンス

楽しいイベントが盛りだくさん

まち元気物産フェア

厚木や全国の名産を取りそろえた物産展を開催。

あつぎ技能祭

市内の職人さんが大集合。体験会やクイズもあります。

出演パフォーマーに聞く

【ジャグリング】
Juggler Laby



ことして7回目のフェスティバル。最初から出演させてもらっています。厚木の観客は温かくて、とても演技しやすいです。観客とパフォーマーが一体となること。それが大道芸の面白さであり難しさでもあります。日本チャンピオンにもなったジャグリングの腕前で、きっと皆さんを沸かせてみせます。一緒に大道芸を楽しみましょう。

【コメディ】
FUNNY BONES

【コメディ】
ザキー岡



私が紹介します

市民リポーター
斉藤歌織さん(20)

【パントマイム】
加納真実



【フェスティバルミュージック】
Cacochi-kit



演技ポイント：サンパーク

スーパーキッズランド

大道芸チャレンジコーナーをはじめ、フェイスペイントや似顔絵コーナー、ふわふわ遊具など、子どもたちが楽しめるイベントが盛りだくさん。一緒に遊ぼう。



私も大道芸にチャレンジ



⑤見事なバランス芸に大興奮
⑥炎を使ったパフォーマンスに息をのむ

【舞踏】
ゴールデンス by 大船舵艦



消防団ふれあい広場(9日のみ)

地域の安心と安全を守る消防団の触れ合い広場。放水体験や心肺蘇生体験、はしご車にも乗れます。

【アクロバット】
NANA



通りにはウォーキングアクトがたくさん出役



街中が驚きでいっぱい



【ジャグリング】
大道芸人 RIKI



総合福祉センターフェスティバル

演技ポイント：総合福祉センター

障がい者による作品展やボランティア活動を紹介しします。



パフォーマーの演技ポイント

- A 本厚木駅北口
- B 一番街①
- C 一番街②
- D サンパーク
- E 福祉センター
- F 中町公園
- G 花の公園
- H 厚木公園
- I 中央公園東側
- J 中央公園西側
- K アミューあつぎ東側
- L アミューあつぎ 8階

南口ホコ天まつり(8日のみ)

南口初の歩行者天国で皆さんをおもてなし。パフォーマーはもちろん、あゆコロちゃんも登場します。



【京劇・雑技】
TOKYO 雑技京劇団

夜会

(8・9日 17:00~)
大道芸人が一愛に会する目玉イベント。炎と音楽、パフォーマーと観客が混然一体となったとき、夢の扉が開きます。



あつぎグルメフェア

シロコロホルモンや地ビール、空揚げなど、厚木のご当地グルメや絶品スイーツがここに集結。

あゆコロちゃん応援ありがとうセレモニー(8日10:30~)

ゆるキャラグランプリでは、みんな応援ありがとう Boo~。感謝の気持ちを込めて、とっておきのパフォーマンスを披露するよ。遊びに来て Boo~。



大道芸をもっと知りたい方はこちら

公式ガイドブック
これでばっちり
定価 100円
演技スケジュールやパフォーマーを大紹介。市内の店舗で使えるお得なクーポンも付いています。書店・コンビニで絶賛販売中です。

ウォーキングアクト
街中を気ままに歩き回る大道芸の自由人。影像のような姿から3秒を超える足が長いものまで幅広い表現方法がある

パントマイム
言葉を使わず、身振り手振りで表現するパフォーマンス。シュールな世界観に引き込まれる

マジック
目の前で繰り広げられる奇想天外な手品。近くで見ないと分からないし、近くで見ても分からない

アクロバット
高所での逆立ちなど、鍛え上げた肉体を生かした迫力あるパフォーマンスが特徴

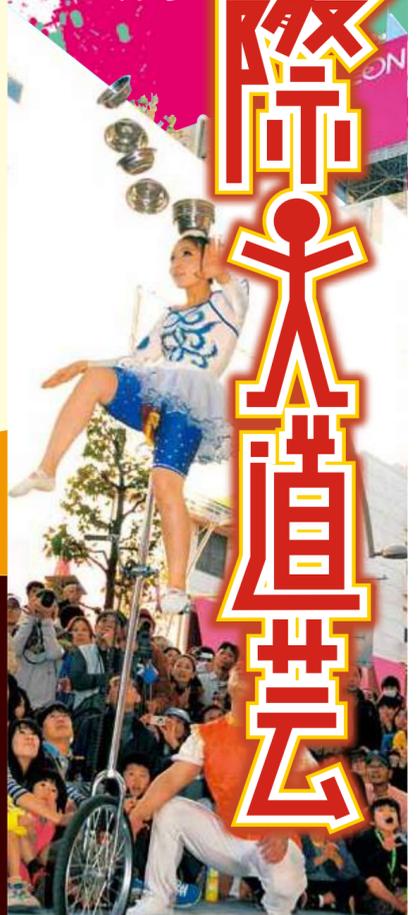
ジャグリング
ご存じ「お手玉」ボールだけでなく、クラブやたいまつなど、さまざまな物を使った代表的なパフォーマンスの一つ

11月8・9日
10:30~START

にぎやか爆発!

あつぎ国際大道芸

「あつぎ国際大道芸」は、厚木の秋の一大イベントにぎわい爆発!あつぎ国際大道芸。駅前が劇場に変わる2日間。46組のパフォーマーたちが不思議な世界へあなたをいざないます。園商業にぎわい課 025-22840





市の補助金が「パワーアシストハンド」などの開発に役立っている

トピック

産業振興

活発な企業活動で豊かなまちに 市の中小企業支援制度

産業の発展は、地域経済を活性化し、住民の雇用機会の増加などにもつながります。市では、さらなる産業の発展を目指し、市内の中小企業や新規創業者の活発な活動を支援しています。

市内では多くの企業が、活発な企業活動を展開しています。平成25年3月の圏央道開通などにより、今後も一層の産業の発展が期待されています。市内企業の9割以上を占めている中小企業は、地域産業の重要な柱です。市は、中小企業の特許取得や設備投資などに対する補助（左表参照）、新規創業者へのサポートを実施し、さらなる企業活動の活性化を支援しています。

ロボット産業を後押し

現在、市内で特に注目されているのがロボット産業です。25年2月、厚木市を含む圏央道周辺の10市2町が「さがみロボット産業特区」に指定されました。市では、ロボット産業の活性化を支援しようと、製品開発に取り組み市内の企業に対し、調査研究や実証実験、原材料などの費用の一部を補助しています。

補助金を受ける「有限責任事業組合LLPアトムプロジェクト」では、手のリハビリを補助する器具「パワーアシストハンド」など、先進的な介護用

ロボットの開発に取り組んでいます。代表の北村正敏さん（62）は「補助金は新たな製品開発の後押しになり、大変ありがたい。今後も人の役に立てる研究を進めたい」と話します。

新規創業をサポート

既存企業の支援に加えて重要なのが、新規創業者への支援です。市は、開業資金として特定の融資を受けた市内の新規創業者に対し、支払い済み利子を一部補助しています。

利子の補助を受け、昨年8月に飲食店を開業した小河水さん（32）は「新規創業は資金面での苦労が大きい。市の支援は、新たに店を立ち上げた人にとって心強い」と話します。市では、開業の手続きや創業計画書の作成など、起業に必要な知識を学べる起業スクールも開催し、新規創業者をサポートしています。

産業で豊かなまちづくりを

市ではその他にも、中小企業診断士などの専門家による相談サポートや経営資金の融資制度（左下表参照）といった事業も実施しています。産業の持続

的な発展・成長が、にぎわいのある豊かなまちをつくりたい。今後も企業誘致と合わせて、中小企業への積極的な支援を実施していきます。

産業振興課 ☎25-2832

ひとまち元氣



厚木市長 小林 常良

大ホールの壇上で高野進さんと

東京五輪・パラリンピック開催決定を機に「あつぎスポーツアカデミー」を創設し、トップアスリートの育成やスポーツ人口の拡大を目指しています。10月4日には、アカデミーのスタートを記念する講演イベント「高野進の

五輪魂」を文化会館で開催しました。講師の高野さんは、陸上競技で3回も五輪に出場したトップアスリート。壇上で、バルセロナ五輪・400m決勝での心境を伺うと、「皆さんが運動会の駆けっこで、スタートするときと同じですよ」と、意外な答えが返ってきました。大舞台で平常心を保つ精神力は、日頃の練習で培った自信や苦楽を共にした仲間との絆があっただけ。この言葉に、高野さんの「五輪魂」を垣間見た気がしました。

最近、世界や全国の舞台で活躍した子どもたちが、うれしい報告を届けてくれる機会が増えました。さまざまなジャンルで、たくさんの方々がスポーツを楽しんでいることを実感しています。スポーツアカデミーでは、未来ある子どもたちの夢を大切に育み、花を開かせていきたいと思っています。

中小企業を支援する市の補助金

特許等出願支援補助金

《対象》国内の特許権などの取得
《金額》対象経費の2分の1以内 ※限度額10万円

中小企業設備投資促進事業補助金

《対象》①市内の工場に設置する工作機械など
②新エネルギーを利用した発電設備
《金額》①従業員20人以下…投資額の5%
②その他…投資額の3% ※限度額300万円

産学共同研究事業補助金

《対象》県内・都内の大学との共同研究（3年間）
《金額》対象経費の2分の1以内 ※限度額80万円

見本市等出展事業補助金

《対象》①国や自治体が主催・共催・後援する見本市
②100以上の出展がある国内の見本市
③日本貿易振興機構が主催または参加する国外の見本市
《金額》対象経費の2分の1以内
※限度額 県内=15万円、県外=20万円

ロボット産業推進事業補助金

《対象》ロボット分野の製品開発
《金額》対象経費の2分の1以内 ※限度額100万円

オープンイノベーション促進補助金

《対象》神奈川版オープンイノベーションに参加する企業のロボット分野の製品開発
《金額》対象経費の2分の1以内 ※限度額10万円
いずれも詳細は、市ホームページをご覧ください。

厚木市 中小企業支援

検索

産業振興課 ☎225-2832

中小企業融資制度

市と連携する金融機関が、経営に必要な運転資金や設備資金を、低利で融資しています。融資制度を利用すると、利子補給や信用保証料の補助が受けられます。

対象や内容、申し込みなど、詳細は市ホームページをご覧ください。

厚木市 中小企業融資

検索

産業振興課 ☎225-2832

企業合同就職面接会 無料

その場で採用面接を受けられるほか、キャリアカウンセラーによる個別相談会も実施します。

日時 11月26日 13時～16時
(15時30分まで受け付け)

場所 平塚プレジール
(平塚市八重咲町3-8)

対象 厚木・平塚・伊勢原市や周辺地域在住の方(高校生以下除く)。

当日直接会場へ。

平塚市産業振興課 ☎0463-21-9758

トピック 空き家対策

安心して暮らせる地域のために

空き家家の管理は適正に

管理されずに放置された空き家は、倒壊や火災などの危険性が高まり地域の安全を脅かします。少子高齢化が進む中、空き家は多くの人に関わりのある問題です。発生を防ぐには、所有者が責任を持って管理することに加え、市や地域住民の将来を見据えた対策が必要です。

昨年、国が実施した調査によると全国の空き家(※)の件数は318万戸にも上っています。国会でも「空き家対策特別措置法案」の実現に向けた動きが進むなど、その対策は全国的な課題となっています。市内で放置されている空き家はまだまだ少ないものの、建築から時間がたった分譲地を中心に増加が見込まれています。

所有者の適正管理が原則

管理されなくなる住宅の多くは、地域と関わりを持たなかった住民の転居や、遠方に住む人が相続したときなど



青木会長を先頭にパトロールする愛甲原自治会の皆さん

『管理できる仕組みづくりが大切』



相模女子大学 人間社会学部 社会マネジメント学科 松下 啓一 教授

空き家問題は、所有者のモラル低下をはじめ、家族形態の変化、税制、社会構造などの原因が絡み合い起きています。少子高齢化などを背景に、今後も間違いなく増えていくでしょう。

長期間放置された空き家は、火災や犯罪の原因となります。発生原因の複雑さから、一度放置されてしまうと解決させるのは簡単ではありません。早いうちから、所有者、地域、市が管理できる仕組みを整えることが重要です。

所有者が責任を持って住宅を管理するのは当然です。しかし、地域は住民同士が言葉を交わせる関係を構築し、安い費用で管理し合える仕組みをつくる。市は地域の努力を支援できる体制を整備するなど、できることはあります。空き家問題の解決に特効薬はありません。みんなで実情に合わせた対策を取ることが重要です。

地域で始まった空き家対策

昭和40年代に分譲された愛甲原地区

に発生します。空き家問題に詳しい相模女子大学の松下啓一教授(63)は「空き家は今後も増える。他人事と思わずに、10年・20年先を見据えた準備が必要」と警鐘を鳴らします(左欄参照)。

住宅の適正管理は、所有者の責任です。老朽化した空き家の倒壊などで、通行人や隣接する家屋に被害を与えた場合、所有者に責任が生じます。誰もが将来を見据え、自宅の管理を考へておくことが大切です。

自治会では、民生委員や青少年健全育成会などと連携し、地域内のパトロールを実施。空き家が放火や盗難などの温床になることを視野に、ことしから「南毛利南地区安心安全なまち会議」に呼び掛け、防犯パトロール車「青パト」での巡回も始めました。

愛甲原自治会の青木康会長(41・愛甲西)は「空き家が放置されてから適



放置される空き家をなくそう

◎所有者がやるべきこと

空き家は、所有者の適正な管理が原則です。使われなくなった住宅は、老朽化が早まり倒壊などの危険性を高めます。早いうちから維持管理について考え、対策を取ることが大切です。長期間家を空けるときは、近所の方に連絡先を伝えるなどの配慮をお願いします。

◎地域ができること

放置空き家の発生は、所有者と隣接住民だけでなく地域全体に関わる問題です。防火・防災・防犯・衛生上の問題に加え、地域の活力低下を招く恐れもあります。普段から、住民同士が交流を持ち相談し合える関係づくりに努めましょう。

市の相談窓口

- ◆火災の予防 予防課 ☎223-9371
- ◆防犯 暮らし交通安全課 ☎225-2148
- ◆雑草・樹木の繁茂 生活環境課 ☎225-2750
- ◆建物の維持管理 建築指導課 ☎225-2432
- ◆不動産 総合相談コーナー ☎225-2100

より安心して暮らせるまちへ

市では、住宅の維持管理や火災予防、防犯などの相談窓口を設置(右欄参照)。消防隊や市民安全指導員が放置された空き家を巡回するなど、安心安全な暮らしをサポートしています。5月には、空き家対策検討委員会を創設。相談窓口や情報の一元化、発生を防ぐための啓発、流通促進などに向けて取り組んでいます。みんなで力を合わせ、住みよいまちをつくりましょう。

☎住宅課 ☎225-2330

※人が住んでいない住宅。転勤や入院などで長期不在のマンションなどを含む。賃貸・売却用などで流通されているものは除く。

11月9日~15日

秋の火災予防運動

火災が発生しやすいこの季節。「もういいかい 火を消すまでは まあだだよ」をスローガンに、火災予防運動を実施します。火の始末などには気を付けましょう。

《啓発活動》 期間中は、消防本部や消防署、消防団が巡回や立ち入り検査などを実施します。

《サイレン試験》 11月9日 7時

※火災とお間違いないようご注意ください。

☎予防課 ☎223-9371



設置しましたか? 住宅用火災警報器

熱や煙を感知する警報器は、寝室や階段への設置が義務化されています。命を守るために必ず設置しましょう。

※悪質業者にご注意ください

あつぎ市民交流プラザ。骨密度測定(5・6日は保健師の個別相談あり)。骨粗しょう症治療や8月の検診を受けていない市内在住の30歳以上の女性300人。800円(市民税非課税世帯や生活保護法の被保護世帯は事前申請により免除)。

認知症予防は口腔ケアから

12月4・11日(全2回)、14時～15時30分。総合福祉センター。歯の健康や食事に関する歯科医師・管理栄養士の講義・演習。市内在住で65歳以上の方30人(要支援・介護認定者を除く)。無料。

第1回厚木市長杯争奪親睦健康マージャン大会

11月22日、9時～16時。東町スポーツセンター。市内在住在勤の60歳以上でアマチュアの方180人。600円。

下水道排水設備工事責任技術者試験・更新講習会

《試験》平成27年2月17日、13時30分～15時30分。川崎市教育文化会館。5200円《講習会》平成27年1月26・27・28日、13時30分～16時30分。サンピアンかわさき。5200円。

年末調整などに関する説明会

11月12日、13時30分～16時。文化会館。①年末調整や法定調書

②給与支払報告書の作成など。事業所や事業主の方。無料。①厚木税務署 ☎221-3261②市民税課 ☎225-2011。

木造住宅の無料耐震診断

《対象》①昭和56年以前に完成②用途が専用住宅または兼用住宅③地上2階建て以下の在来工法一の全てを満たす木造建築物。

宅地建物取引業協会の相談会

11月22日、10時～16時。宅地建物取引業協会県央支部(水引1-8-22)。専門家が法律や税金、不動産取引の相談に対応。

自衛隊高等工科学生徒を募集

《対象》中学卒業(見込み含む)～16歳の男性《内容》自衛官の育成(全寮制)《受付期間》推薦入試=11月1日～12月5日。一般入試=11月1日～平成27年1月9日。

公共建築月間講演会

11月20日、13時30分～。横浜市開港記念会館。定員200人。「木が創る未来～木材利用がつなぐ都市と林産地～」がテーマの講演など。

平成27年4月の家庭保育福祉員(市が認可)の入所児童を募集

《対象》保護者が①月64時間以上かつ週4日以上就労②妊娠・出産③疾病・負傷または障がいがある一などの理由で保育できない生後8週～2歳(平成27年4月1日現在)の乳幼児。

市民協働推進委員を募集

市民協働推進条例の運用状況などを点検する委員を募集します。《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②他の付属機関

あつぎ 元気Wave 11月の広報番組ガイド
ケーブルテレビ あゆチャンネル(11ch)
放送時間(15分) ①12時～②19時30分～③22時45分～
11月1日～15日 ◆発足「市民救命サポート隊」救急車到着までの応急処置を行う市民救命サポート隊を紹介

などの委員でない③市の議員・職員でない④平日昼間の会議(年3回程度)に出席できる一の全てを満たす方3人《任期》平成27年1月30日から2年間《報酬》1日7800円(交通費含む)。

ひとり親家庭などの医療費助成現況届

助成を受けている方は、11月28日までに現況届を提出してください。届け出には健康保険証などが必要です(児童扶養手当の受給者は不要)。

控除証明書の発行

国民年金保険料を1月1日～9月30日に納めた方には11月中に、10月1日～12月31日にことし初めて納めた方には平成27年2月に証明書を送付します。

森の里東拠点整備事務所が移転

11月4日から、事務所が森の里東土地区画整理組合事務所内(森の里青山14-12)に移転します。

11月は子ども・若者育成支援強調月間

「心のふれあいと夢を育む青少年～家庭・学校・地域の連携で～」をテーマに青少年の健全育成に努めましょう。

11月は不法投棄撲滅強化月間

「不法投棄をしない!させない!ゆるさない!」をスローガンに、撲滅を目指しましょう。

11月は児童虐待防止推進月間

虐待は、子どもの心と体に深い傷を残し、健やかな成長に重大な影響を与えます。虐待を防ぐには、早期の発見・対応が重要です。

みんなの声で つくる まち

《パブリックコメント》

●住みよいまちづくり条例施行規則の一部改正

《閲覧期間》11月1日～12月1日。☎243-8511まちづくり指導課 ☎225-2420

●(仮称)工場立地に関する準則を定める条例

《閲覧期間》11月1日～12月1日。☎243-8511産業振興課 ☎225-2831

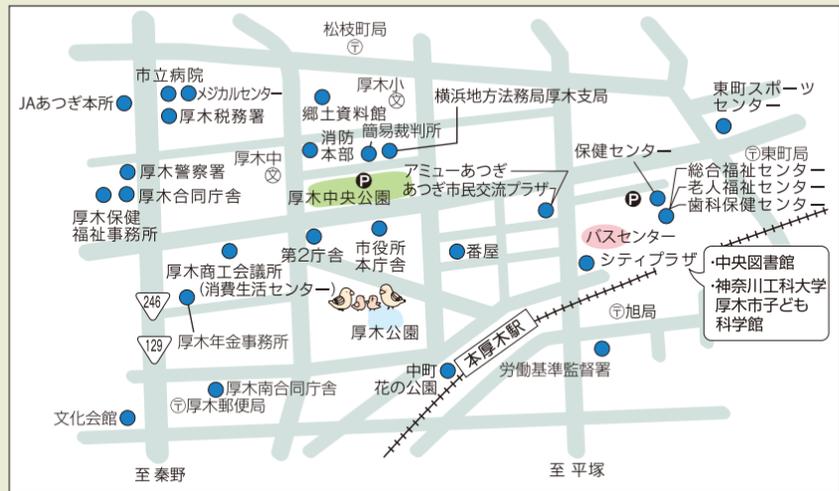
閲覧場所は、各課窓口、市政情報コーナー、公民館、本厚木・愛甲石田駅連絡所、総合福祉センター、中央図書館、あつぎ市民交流プラザ、市ホームページ。

教育委員会人事
市教育委員会は、10月1日付けで委員長に馬嶋順子さん(58)を、委員長職務代理者に難波有三さん(60)を選出しました。

インターネットモニターからの意見を紹介
ホットいメール Hot E Mail
10月1日号「広報あつぎ」を読んで
◆生き生きと相撲をとる子どもの写真に引きつけられた/30代女性・林◆グラフなどから行政改革の内容を理解できたが、効果金額の説明もほしかった/60代男性・栄町◆みんなで声を掛け合い悪質商法から身を守らないといけないと思った/50代女性・飯山◆子どもと公園で遊びながら野外彫刻造形展の作品が見られるので、ぜひ行きたい/20代女性・温水西◆スマート・インター・チェンジによる利便性向上に期待したい/50代男性・上落合

編集後記
9月～10月にかけて、特集で取り上げた2家族に密着しました。季節の変わり目で2家族とも患者さんの体調が崩れてしまい、一時は取材を断念しようと思ったこともありましたが、皆さんの励みになるのならとの言葉を頂き、強く心を打たれました。

タウンガイド



11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1	1	2	3	4	5	6	
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31			
30													

マイタウンクラブ

印の番号でウェブ上からも、詳しい情報をご覧ください。
「04」と記されたものは、ウェブ上から申し込みができます。
www.mytownclub.com
[携帯電話は末尾に/cpを]

市制60周年カウントダウン事業

揚州市友好都市締結30周年記念 青少年絵画・写真展

11月5日～30日。厚木地下道。中国・揚州市の青少年が描いた絵画のほか、街並みや行事などの写真を展示。☎秘書課☎225-2050。

スポーツなじみDAY

11月15日、10時～15時30分（雨天時は屋内のみ）。荻野運動公園（中荻野1500）。無料。《種目》屋内＝バウンスポール、キンボール、ドッジビー、カーレット、体力チェックコーナーなど。室内履きをお持ちください。屋外＝ターゲット・バードゴルフ、グラウンド・ゴルフ、ペタンク。☎当日直接会場へ。☎スポーツ政策課☎225-2531。

市民ふれあいマーケット

11月16日、10時～14時（雨天中止）。厚木中央公園。日用雑貨や衣料品などの不用品を130店舗が販売。☎環境政策課☎225-2749。

11月の青春劇場スケジュール

15日＝唄う！青春劇場カラオケ大会（ゲスト・浪ちひろ）。15

時～16時。定員100人。入場料500円。22日＝あつぎ青春劇場落語会（出演・林家たこ平）。11時～12時30分。定員100人。入場料500円。

いずれも会場は、アミューあつぎ9階。☎商業にぎわい課☎225-2840。

身近な植物の観察や実験で知恵や不思議を見つけよう

11月16日、13時～16時。あつぎ市民交流プラザ。植物の観察や簡単な実験。定員90人。無料。☎当日直接会場へ。先着順。☎郷土資料館☎225-2515。☎141415

七沢ふれあいデー

11月16日、10時～15時。七沢自然ふれあいセンター（七沢2440）。ミニバームクーヘン作りや工作、野菜の無料配布など。一部実費負担。☎当日直接会場へ。☎七沢自然ふれあいセンター☎248-3500。

かながわ移動観光大学

12月4日、14時～17時。あつぎ市民交流プラザ。「圏央道開通と観光振興」がテーマの講演やパネルディスカッション。定員100人。無料。☎電話またはファクスに〒住所、

氏名、電話番号を書き、11月21日までに観光振興課☎225-2820・☎223-0174へ。抽選。☎141523

木管五重奏・小鮎中学校吹奏楽部 ジョイントコンサート IN OGINO

12月13日、14時～（開場は13時30分）。荻野運動公園（中荻野1500）。昭和音楽大学卒業生の木管五重奏と小鮎中吹奏楽部の演奏。定員100人。700円（小中学生300円。未就学児無料）。室内履きをお持ちください。☎11月1日～12月2日に荻野運動公園☎225-2900へ。☎141397

こころのふれあいフェスタ玉川

11月15日、13時～16時。玉川公民館（七沢175-6）。心の病に関する講演と体験発表。定員100人。無料。☎ハートラインあゆみ☎259-5712。

自然を撮ろう

11月29日、10時～12時。ぼうさいの丘公園（温水783-1）。ネーチャージョゲームや写真撮影で自然の魅力を発見。市内在住在勤在学の小学生以上の方30人（小学生は保護者同伴）。無料。デジタルカメラをお持ちください。☎ファクスに〒住所、参加者全員の氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書き、11月10日までに市民活動ネットワーク☎228-8825へ。抽選。☎池本☎090-2529-4101。

湘北短期大学保育学科 ステージ公演

12月12日、10時30分～。文化会館。市内在住の未就学児と保護者150人。無料。☎往復ハガキに〒住所、参加者全員の氏名、年齢、電話番号を書き、11月21日（必着）までに〒243-8501湘北短期大学公演事務局☎247-3131へ。抽選。

あつぎ協働大学特別講座

12月13日、9時30分～13時。東京農業大学（船子1737）。動物飼育、ガーデニング。市内在住の小学生17人（ウマ係5人・イヌ係4人・ウサギ係2人・ガーデニング係6人）。307円（保険代）。☎ハガキ、ファクス、Eメールに保護者の〒住所、氏名、電話番号、児童の氏名（ふりがな）、学年、

性別、希望する係を書き、11月21日（必着）までに〒243-8511文化生涯学習課☎225-2512・☎225-3130・e-mail=0350@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。

安心・安全なまちづくり研修会

11月19日、13時30分～15時。総合福祉センター。安心安全なまちづくりに取り組むための知識を学ぶ。定員350人。無料。☎くらし交通安全課☎225-2148。

からだいきいき運動教室

①Aコース＝12月5日～平成27年2月27日の金曜、14時～15時50分。東町スポーツセンター②Bコース＝12月3日～平成27年3月4日の水曜（2月11日は除く）。10時～12時。ぼうさいの丘公園（温水783-1）③Cコース＝12月9日～平成27年3月3日の火曜（12月25日は木曜、1月14日は水曜）、10時～12時。荻野運動公園（中荻野1500）④Dコース＝12月5日～平成27年2月27日の金曜、10時～11時50分。東町スポーツセンター。

いずれも全12回（年末年始を除く）。対象は市内在住で65歳以上の方各30人（要支援・介護認定者を除く）。無料。☎直接、電話またはハガキ、ファクスに教室・コース名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、11月17日（必着）までに〒243-8511高齢福祉課☎225-2388・☎221-1640へ。抽選（A～Cコースは初めての方を優先）。☎141439②141440③141442④141443

アクア転倒骨折予防教室

12月4日～平成27年3月5日の木曜（12月25日、1月1日を除く全12回）、10時～12時。総合福祉センター。市内在住で65歳以上の方20人（要支援・介護認定者を除く）。無料。☎直接、電話またはハガキ、ファクスに教室名、〒住所、氏名、生年月日、電話番号を書き、11月17日（必着）までに〒243-8511高齢福祉課☎225-2388・☎221-1640へ。抽選。☎141438

骨粗しょう症検診

12月4・5・6日、9時～16時（12時～13時を除く）のうち30分程度。

第12回 郷土芸能まつり

市に伝わる郷土芸能の祭典です。ぜひご来場ください。《会場》文化会館 小ホール ☎当日直接会場へ。先着順。

●相模人形芝居特別公演
《日時》11月16日 13時30分～16時30分 入場無料
《出演》相模人形芝居長谷座・林座、あつぎひがし座、郷土芸能学校義太夫三味線受講生

●郷土芸能発表会
《日時》11月30日 13時30分～17時
《出演》愛甲・長谷ささら踊り盆唄保存会、相模里神楽垣澤社中、古式消防保存会、法雲寺酒井双盤講、伊勢十二座太神楽獅子舞保存会、林太鼓・馬場太鼓保存会
《特別出演》三浦市・ちゃっさらこ保存会（国指定重要無形民俗文化財・ユネスコ無形文化遺産）

☎文化財保護課☎225-2509



相模人形芝居長谷座



ちゃっさらこ保存会

厚木市議会

第6回 議会報告会

議員が議会の報告をするほか、参加者と意見交換などを実施します。お気軽にご参加ください。

日時		会場	
11月	11日	19時～20時30分	厚木南公民館 担当：総務企画常任委員会
	13日	19時～20時30分	南毛利公民館 担当：市民福祉常任委員会
	15日	10時～11時30分	厚木北公民館 担当：環境教育常任委員会
14時～15時30分		睦合南公民館 担当：都市経済常任委員会	

☎議会総務課☎225-2701



展望広場からは素晴らしい眺望が広がる



106mを一気に滑走する滑り台は迫力満点

整備が進む

森では鳥や虫、花など多彩な動植物を観察できる

自然体験活動の新たな拠点

(仮称)

健康こどもの森

子どもたちが豊かな自然と触れ合える「(仮称)健康こどもの森」の整備が着々と進んでいます。森には滑り台や空中回廊など、一日中楽しめる施設が盛りだくさんです。コンセプトは「遊んで学んで元気になれる自然体験活動の新たな拠点」。豊かな生態系に配慮しながら工事を進め、平成27年度中の全面オープンを目指しています。

問公園緑地課 ☎225-2412



完成イメージ

約6%の敷地には子どもの感性を刺激する施設がズラリ滑り台(106m)、空中回廊(約700m)、広場、管理棟などの関連施設、農業体験ができる田んぼ、散策路ほか



木々に囲まれた滑り台の登り口

森の中で
遊ぼう

体験見学会



市制60周年
カウンタダウン事業

日時 12月13日(土) 10時~15時

《(仮称)健康こどもの森会場》

- ・滑り台滑走体験
- ・空中回廊ウォーキング

☎当日直接、荻野運動公園へ

《荻野運動公園会場》

餅つき大会、親子自然クラフト教室、自転車教室、親子駆けっこ教室、飯山白龍太鼓、大道芸、飲食ブースなど

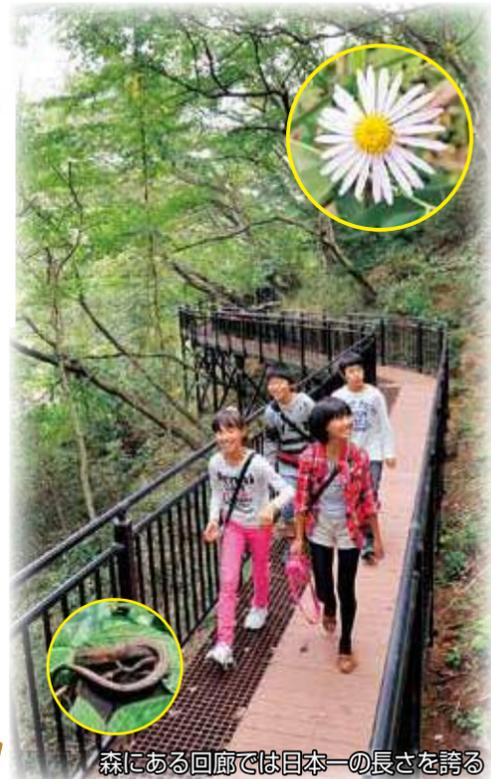
特典 先着1000人にあゆこちゃん缶バッジとシールをプレゼント

厚木市 こどもの森 見学会

検索

●アクセス

- バスセンターから
①半原行きに乗車。稲荷木下車(徒歩10分)
②宮の里行きに乗車。宮の里東下車(徒歩5分)など



森にある回廊では日本一の長さを誇る